



創誠健和



旭川中学校 学校通信 9月号

コロナ禍が明けた今、

令和5年 9月 25日発行

旭川中学校の活気を取り戻す!

旭川中学校では、校訓である「創誠健和」を大切に、世界一の優しい学校を目指しながら、生徒会を中心に、様々な活動を展開してきています。

このような中、今年度は5月以降のコロナに関する規制緩和を受け、学校全体の活気を取り戻すべく、前期生徒会役員は『every day is memorable ～旭中生の毎日が思い出に残るような活動を～』を活動目標に掲げ、「旭中フェス」や「各壮行会」「リングプル回収」「異学年交流」のほか、制服の改定も含めた校則の見直しに着手するなど、「生徒による学校づくり」として展開してくれました。

土台を創ってくれた現3年生は、「旭中フェス」でリーダーシップを発揮し、終了後は進路に向けた本格的な準備期間に入ることから、後輩たちに組織上の立場を譲り、新たな活動を見守ることとなります。

先週の22日には、後期生徒会役員選挙が行われ、新役員も決定しました。授業では学ぶことのできない様々な経験を積むために、大きな達成感を得るために、仲間との絆をより一層育むために、そして、みんなから支えられる、みんなを支える人になるために、それぞれの目標の元、活躍の場を広げてくれることと思います。後期の生徒会の活動からも目が離せません。

後期生徒会役員

会長	2年2組	田中花音
副会長	2年1組	嶋田雪乃
	2年1組	白崎勇人
書記長	1年1組	三上早耶
会計	1年2組	南山大政

新チームの活躍もすごい!

8月の全国中学校体育大会を終え、殆どの運動部活動は新チームへと移行しました。卓球部2年の入江佳輝さんが「北海道卓球選手権大会」において5位入賞し徳島県での全国大会出場。テニス部は女子団体戦で上川代表決定戦進出、1年生研修大会では男女アベック優勝。バレーボール部はミカサ杯で優勝。等々、校長室には賞状やトロフィー、カップが溢れかえっています。歴史ある旭中の新たな代表たちも、参加する全ての大会で勇姿を見せてくれています。



そのような中、匿名ではありますが、私宛に静岡県在住の方から以下のようなお手紙をいただきました。大会結果以上の素晴らしい力を身に付けている生徒たちに感動しました。改めて、心から感謝です。

校長先生

突然のお手紙、お許し下さい。八月末に私たちは旅で高知の桂浜を訪れました。帰りのバスはたいへん混雑していて、最後に乗り込んだ私たちはわずかなスペースに立つしかありませんでした。そんな中、座っていた男子生徒さんのグループが「ここに座って下さい」と、声をかけて下さいました。生徒さんも疲れているだろうし、私たちもまだ50代なので最初は遠慮しましたが、お言葉にあまえて座らせていただきました。

聞けば生徒さんたちは、卓球の全国大会で北海道から来たとのことで、生徒さんたちは、皆、マナー良く、礼儀正しくて、全国大会に参加するチームの生徒さんは、そういう面でもやはり、優れているのだと感心いたしました。

この出来事を皆様にもお知らせしたく、お手紙した次第です。校長先生から私たちの感謝の気持ちを、今一度、お伝えいただければ幸いです。

突然のお手紙で失礼いたしました。最後までお読み下さりありがとうございました。貴校の生徒さんたち、先生方、皆様のご健康とご活躍を静岡より祈っております。23.8.31 SHIZUOKA



歌声が響く学校

10月3日(火)～10月4日(水)に「旭中フェス」が開催されます。
4日午前には、昨年度、コロナの影響で中止した合唱コンクールが開催されます。コンクールに向けた練習がスタートし、学校中に歌声が広がっています。

1年生のさわやかで清々しさがある合唱。2年生は、1年間の成長を感じる2年生らしい歌声が響き、丸みを感じる女声と合唱を支える男声の響きを感じます。そして、3年生。気持ちの高まり、各パートの声の響き、ハーモニーの厚み、弱奏部分とクライマックスの違いを表現。技術的にも優れていると感じています。

これまでの教職経験で言えることは、「歌声が響く学校は、間違いなくよい学校」だということです。しかし、コロナ禍にあったこの数年で課題もあると感じていました。それは、全校生徒で母校への誇りを感じながら歌い上げる「校歌」を聴いたことがないということです。

合唱はもとより、やはり、自分たちの学校の校歌を堂々と歌えてこそ本物だと思います。今年の課題曲は、全学年共通で、もちろん「校歌」です。コンクール当日が本当に楽しみです。保護者の皆様、そして地域の皆様、ぜひ、生徒の歌声を楽しみにご来校ください。

旭川中学校校歌 中田猛夫 作詞 石山美治 作曲

繞る山脈みどりに匂い 自然の恵みゆたけき里に

国と民との栄を希い 学びの庭にいそしみあえる 友よつとめん望みは高し

佐藤 操 先生 お帰りなさい！
古白川直美 先生 ありがとうございました！



英国レスター大学への1年間の留学を終えて佐藤 操教諭が帰国し、旭中での勤務が再開されます。このことから、9月25日(月)をもって、1年間お世話になった古白川直美教諭が旭川市立広陵中学校へ異動されることになりました。ベテランの英語教諭として、主に2学年に所属し、英語や特別支援学級の担当もお願いしてきました。この間、保護者はもとより、地域の皆様にも温かいご支援をいただき、ありがとうございました。古白川教諭の今後ますますのご活躍を心より願っております。

古白川 直美 教諭

1年間の任期を終え、旭川中学校を離れることになりました。素直で明るい旭中生の素敵な雰囲気の中で過ごした日々は、私にとって本当に思い出深く、大切な宝物となりました。常に温かく見守り協力してくださった保護者の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも旭川中学校の皆さんが輝き続け、それぞれの夢に向かって進んでいけるよう心から願っています。ありがとうございました。

佐藤 操 教諭

イギリスでの大学院留学を終えて、9月より再び旭川中学校でお世話になります。2年生と1年2組の英語を担当することになりました。年齢、国籍、人種を超えた多様性に富んだ環境で、英語を母国語としない学習者への外国語教授法について専門的に学んで参りました。私自身、学生として1年間を過ごし、学ぶことの楽しさや意義を再認識することができました。是非、この感動を生徒の皆さんに伝えることができれば幸いです。